

## 【防災部会活動報告】鳥取県技術士会が行う防災士養成講座を視察しました

- ・日時:11月18日(日) AM
- ・場所:倉吉文化会館
- ・参加者:木佐幸佳、江角淳、長嶺元二

### ・概要

鳥取県技術士会は防災教育に熱心なことで知られています。今秋、鳥取県が主催する防災士養成講座を委託されたと聞いて、先進的事例の視察に出向きました。

防災士とは、NPO 法人が認証する資格で、地域の防災リーダーの役割を担う人です。鳥根県内ではあまり耳にしません、H30 時点で全国に約 15.5 万名、鳥取県内でも 716 名が登録されています。

講座は土日の二日間にわたりみっちり行われ、講習後の試験に合格しなければなりませんので、180 名の受講者は皆真剣です。また、一般応募の人は受講料 8,380 円を支払っています。そこに大人数でお邪魔するわけにいきませんので、今回は役員 3 名だけの参加としました。

講義の内容は、自然災害、地震、土砂災害、風水害、予報・警報、避難、ボランティア、地域防災などをキーワードとして多岐にわたり、講師は識経験者、県職員、気象庁等の機関職員らが務めています。技術士会が委託されたコマは 2 時間で、その前段は伊藤徹氏(日本技術士会鳥取県支部長)による地域防災についての講義、後段にクロスロードゲームが行われました。

クロスロードゲームとは、たとえば「自主避難をしようと思ったが、ペットの小型犬のことが心配です。一緒に避難所に連れて行きますか?。」といった正解のない出題に対し、あなたならどうするかを考えさせる学習です。グループ討論により人の意見を聞き、人がどのように考えているのかを知ることができ、大変盛り上がります。鳥取県技術士会員 20 名がグループ討論をサポートしました。

クロスロードゲームの設問等の詳細は、新年例会の研究発表会報告書に載せますので、関心がありましたらご覧ください。



クロスロードゲーム状況  
鳥取県技術士会員 20 名がサポート